

県士会 ニュース

No.228

[2024.8]



Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

TOPIC

神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会

地域リハビリテーション三団体協議会とは P. 4

巻頭言	P. 1
カナドラ！《県士会ニュース出張版》.....	P. 2
生活行為向上マネジメント（MTDLP）推進委員会からの お知らせ	P. 2
保険情報コーナー（第6回目）	P. 3
2024年度地域リハビリテーション部活動紹介 【2024年度地域リハビリテーション部体制】	P. 5

絵本でみる作業療法	P. 6
理事会議事録.....	P. 6
求人案内.....	P. 7
各部からの報告.....	P. 7
事務局からのお願い	P. 8
編集後記	P. 8

巻頭言

2024年度の社員総会



一般社団法人作業療法士会
会長 神保 武則

第11回一般社団法人神奈川県作業療法士会社員総会が5月12日（日）に開催され、会場には多くの代議員や会員が足を運んで下さいました。長時間に渡り最後までご出席下さった皆さま、誠にありがとうございました。

今回は、会長の私から永年会員、学生会員、そして組織改編について総会冒頭に提示させて頂きました。議案書に書かれている内容は割愛致しますが、全国的にも課題である会員数の減少は、当士会においても深刻な課題です。今後様々に創意工夫を凝らすことが求められるでしょう。2023年12月の当士会会員統計に基づく、会員数2,333名の内、30歳代の会員が最も多く（877名）、これに続く20歳代は確実な低下（600名）を示しております。参考までに、40歳代（569名）、50歳代（224名）、60歳代以上（52名）です。今から30年後（2053年）に満65歳、且つ在籍20年以上の会員は1,257名と試算され、会員構成の約半数がこれに相当する可能性が高くなることが示唆されました。当士会とし、後世の健全な作業療法活動を支えるベテラン勢を何としてでも繋ぎ留め、一人ひとりが多

様な職域で作業療法士として築く相互関係を創出し、作業療法（士）を希望する者を支援し、県民ニーズや地域にお住まいの対象者たちに質の高い、より豊かな生活が提供できるよう技術や知識をしっかりと継承していくことが最重要であると議論しました。つまり、将来に向け、「作業療法」のあるべき意義を継承する人材の確保は極めて重要であることを念頭に、永年会員や学生会員制度の定款および会員規定の修正案をご審議頂きましたところ、賛成多数の承認を頂きました。心より感謝申し上げます。一方、会員規定の修正不備に関するご指摘も頂きましたので、理事会で再度見直し、必要に応じて臨時総会を開催する運びと致しました。さらに、当士会の組織改編に関する話題を提供させて頂きました。2024年度をその移行準備期間。2025年度の総会で審議案件とし本格運用に挑みたい旨の説明を致しました。その他、コロナ明けの研修参加状況や会員の満足度に関するご質問や、認定作業療法士の士会活動協力等のご意見、また広報戦略等の効果と見直しについてのご意見など、活発な質疑応答の時間もありません。

総会終了後は、神奈川県作業療法士会「功労表彰」授与式を執り行い、表彰者9名のうち、増田郁先生が会場に来て下さいましたので壇上でスピーチを頂くことができました。増田先生の優しい笑顔とほっこりと和む空気が流れ、会場からは大きな拍手で幕を閉じることができました。

最後に、士会事業は会員一人ひとりの想いを繋ぐものです。我々一人ひとりが作業療法士とし、その想いを届ける対象者がいる限り、伝えていかなければならないものも沢山あります。今後とも皆様のお力添えを頂きたいと思致します。何卒宜しくお願い致します。

カナドラ！《県士会ニュース出張版》

～ 実車評価について ～



◀ 神奈川県自動車運転に関するアンケートはこちら



◀ ブログ版カナドラはこちら

制度対策部自動車運転班 渡邊 隼人

制度対策部自動車運転班のブログ「カナドラ！」(下記QRコードよりブログチェックもお願いします!)の県士会ニュース出張版第14回です。今回は2023.12月号に続き「実車評価」として、免許センターのコース開放をお伝えしたいと思います。

二俣川免許センターで行なわれているコース開放は「予約が必要で土日祝の指定日のみ」という条件はあるもののご自宅の自動車を持ち込んで練習ができ、指導者同伴(免許保有3年以上の者)であれば安価に利用できます。対象もこれから新たに免許を取得しようとする方や外国籍の方向けの解放であることもあり、現時点では一定の病気等による制限自体は無いとのことと指導者の要件を満たして予約が取れば利用可能です。

コース設定は特に指定はなく、大型車用のコースにさえ入らなければ時間内でどう回っても問題ありません。ですので、ある程度事前にどのようなコースを回るかは考えておくといいでしょう。また、試験コースのような形でルート例もいくつか用意されており、受付時にお願いすると紙面でいただけるので参考にすることもできます。

所属施設での経験(今回対象としたのは臨時適性検査を事前に合格した方)を踏まえてお伝えすると、指導者として当院OTが対象者の自家用車助手席に乗車しご家族は待合室にて待機する形で実施しました。ご本人・ご家族の希望もあり複数回実施予定でしたので、その回ごとに目標を決めクランクや駐車を含めたコース設定を提案。動画撮影が禁止だったこともあり、実施後に口頭でご本人・ご家

族へフィードバックし課題を提示しました。この対象者の方はご家族が指導者の要件を満たしていたこともありご家族とも複数回コース開放を利用し、最終的には自動車運転を再開されています。

ドライビングシミュレーターや停止車両では見ることができない実車での操作や状況判断に関してはしっかりと見ることができ、ご本人が実際の運転の中で何が課題かを認識することは模擬課題に比べるとしやすかったように思います。

しかし①教習指導員付きでの予約が非常にとりにくく、同乗ができない②持ち込み車の場合補助ブレーキがなく、万が一の時の対応がサイドブレーキのみ(ハンドタイプに限られる)③機器の持ち込みも現状では難しいため、対象者の目線や視野を助手席から評価することが難しい④場所が免許センターのみで立地によっては利用しにくいなどの課題もあります。

近隣の教習所での実車評価ができていない病院が多いかと思いますが、選択肢の一つとして免許センターのコース開放を検討してみたいかがでしょうか。

自動車運転に関わるご相談や共有事項があれば県士会自動車運転班宛にお気軽にご連絡ください!



コース写真は Google MAP より

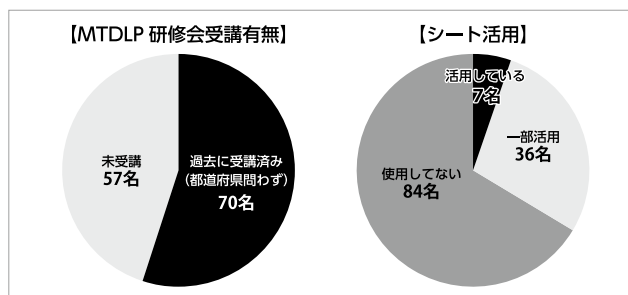
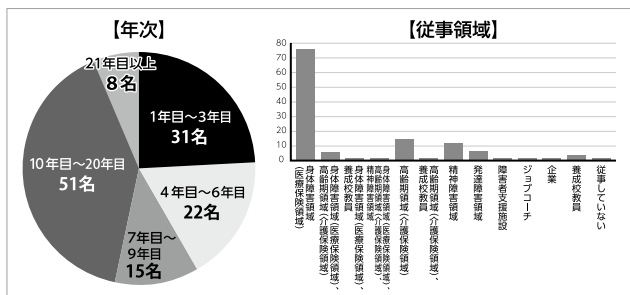
連載

生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進委員会からのお知らせ

～ MTDLPいち推し ～

今回は、当委員会で2024年1月11日から3月15日まで実施させていただいた「生活行為向上マネジメント(MTDLP)に関する意識調査」アンケートの結果をお伝えしたいと思います。

アンケートでは、127名と多くの方からご回答いただくことができました。回答いただいた皆様、本当にありがとうございました。



まず経験年数は「10年目～20年目」が51名と最も多く、次いで「1年目～3年目」が31名でした。従事領域は「身体障害領域(医療保険領域)」が76名と最も多く、次いで「高齢者領域(介護保険領域)」「精神障害領域」となっていました。少数ですが、「発達障害領域」や「養成校教員」の方にもご回答いただいています。今回回答いただいた方のMTDLP研修会受講状況ですが、「過去に受講済み」が

P.3上へ続く▶

70名、「未受講」が57名となっていました。未受講の方のうち、MTDLP研修会を「できるなら受講したい」「ぜひ受講したい」方が34名でした。また、MTDLP事例発表を「ぜひやってみたい」「できればやってみたい」受講済みの方は39名でした。

未受講の方の今後の研修受講への意欲や、受講済みの方の事例発表への意欲が感じられる結果が得られた一方で、MTDLPシートに関しては「使用していない」と回答した人が最も多く、次に「活用している」「一部シートを活用している」と回答された方が43名でした。この結果だけでは言い切ることができませんが現場でのMTDLPの活用が進んでいるとは言えず、また先ほどの意欲という観点でも受講に気持ちが向かない方・事例発表に対して難しいと感じている方も多い結果となりました。

MTDLPの普及や現場での活用を進めていくには、まだまだ多くの課題が残されていることが示唆されています。今後の普及や実際の活用に向けた課題を解決していくために、MTDLP研修会未受講の方へは「研修会未受講の理由」を、受講済みの方へは「事例発表が難しい理由」を伺わせていただいています。

頂いたご意見をふまえ、より多くの皆様にMTDLPを深く学び実践していただくためのサポート体制の強化に注力していきます。また指導者資格取得を目指す方へは、事例登録に向けた支援も充実させたいと考えます。MTDLPのエッセンスを学びたい方や職場の症例検討等での活用を検討されている方も、当委員会にご相談いただければ幸いです。

(文責：MTDLP推進委員会 渡邊 隼人)

2024年度 MTDLP 関連研修会情報

1. MTDLP 基礎研修 ★今年度より対面開催します！

本研修会は、生涯教育制度現職者選択研修の必須研修です。

＊参加費：5,000円

- ① 2024年10月13日(日) 9時30分～17時30分
会場：横浜リハビリテーション専門学校(東戸塚)
- ② 2025年2月16日(日) 9時30分～17時30分
会場：ウイリング横浜(上大岡)

2. MTDLP 事例検討会 ★Zoom開催です。

本研修会では、発表者へは事前に発表資料を提出いただき添削をして発表準備を支援し、発表後はMTDLP事例報告登録を支援しています。また、事例報告の発表だけでなく、聴講するだけの参加も可能です(発表したことにはなりません)。実際のMTDLPの実践をぜひお聴きください。

＊参加費：発表3,000円 聴講のみ2,000円

- ① 2024年9月29日(日) 13時～17時
(申し込み者数により早く終了することあり)
- ② 2024年11月20日(日) 13時～17時
(申し込み者数により早く終了することあり)
- ③ 2025年1月22日(火) 19時～21時
(申し込み者数により早く終了することあり)
- ④ 2025年3月2日(日) 13時～17時
(申し込み者数により早く終了することあり)

研修会内容や申し込み方法などの詳細は、[神奈川県作業療法士会ウェブサイト](#)をご覧ください。

MTDLPは、よりよい作業療法実践を目指す一つ的手段です。全国でも多くの方がMTDLP関連研修会に参加しており、神奈川県では、これまでMTDLP基礎研修に1,018名、MTDLP事例検討会に150名の方が参加しており、MTDLP指導者が6名います。

保険情報コーナー 第6回目

改正障害者差別解消法(施行:令和6年4月1日) ～旧優生保護法 裁判(7月判決言い渡し)から見る～

制度対策部 社会保障制度班 担当理事 澤口 勇

県士会会員の皆さん、こんにちは。制度対策部です。

本コーナーでは「作業療法士が関わる諸制度(法律)」も含め、皆様の臨床現場や日々の業務遂行で知っておくべき法律・法令などの情報提供に努めております。

令和6年4月1日は「障害者差別解消法」が改正されました。「合理的配慮の提供」に関して行政や事業者は、障害のある人から社会の中にあるバリア(段差等)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応することが「義務化」されました。

ところで、サブタイトルの「旧優生保護法」ですが、ご存知でしょうか? 1948年(昭和23年)から1996年(平成8年)まで日本にあった法律で、『優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命・健康を保護することを目的とする』と定められていました。つまり、障害のある子どもを「不良な子孫」と規定し、社会全体のためには、そうした子どもが生まれてこない方がよいという考え方(優生思想)に基づいた法律でした。具体的には、その目的のために、遺伝性の疾患や知的障害、精神

障害などがある人に対して、本人の同意がなくても強制的に不妊手術を行うことも認めていました。

なぜこのような法律が作られたのか。時代背景として、1945年の敗戦以降、外地からの引き上げや出生数の増加によって国内の人口が急増し、食糧不足などの問題が深刻になっており「人口の抑制」が国としての大きな課題で、旧優生保護法が担った役割の一つが「中絶の合法化」でした(NHKハートネットより引用)。

このような障害者を人として扱わない差別的な法律が平成8年まであった、と聞くと本当に驚きです。ここは本当に日本なのか。旧優生保護法のもとで障害などを理由に不妊手術を強制された人たちが国に賠償を求めた裁判は、本号が発刊される夏頃には、ようやく判決が出ているかと思えます。原告たちが長年苦しんできた思いを我々も重く受け止め、日々の臨床にあたる必要があると思えます。そして、改正障害者差別解消法も然り、障害の有無も関係なく、全ての人の人権を守り切る職種とならなければなりません。

2024年度8月号

神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会

地域リハビリテーション三団体協議会とは

神奈川県における訪問リハビリテーションに係わる活動を中心に、一般社団法人神奈川県作業療法士会、公益社団法人神奈川県理学療法士会、神奈川県言語聴覚士会が協働して運営を行っています。

地域包括ケアシステムの構築が急務となっている昨今、訪問リハ従事者の育成のみならず訪問リハ従事者のネットワーク構築、更には関係機関との連携が必須となっております。それらに迅速に対応すべく、2014年4月1日に『神奈川県訪問リハビリテーション協議会』を設立し、翌年に作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会の三職種の県などからの窓口的な役割も担うこともあり、名称を現在の『神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会』として運営を行っています。

設立から10年が経過し、制度や職域も変化しております。地域リハビリテーション三団体協議会としても各士会の意見を取り入れながら神奈川県や横浜市、その他の市町村などとも関わりを持ち、作業療法士会会員の皆様にも有益な情報や研修会を企画できるように取り組んでいければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【どのような事業を行っているのか？】

1. 訪問リハビリテーション実務者研修会 2024

地域における訪問等のリハビリテーションに係る、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士を育成するための勉強会の開催

2. 訪問リハビリテーション初任者研修会 2024

訪問リハビリテーションに関する基礎的な知識・技術の習得を目指す

3. 地域リハビリテーション懇話会

各地域の課題や対策等の共有と管理者間のネットワーク構築および本会の組織化を検討する

4. 委員などの推薦依頼

- ・神奈川県在宅医療推進協議会・神奈川県地域包括ケア会議委員
- ・神奈川県医師会「在宅医療トレーニングセンター」運営協議会委員
- ・神奈川県介護予防市町村支援委員会専門部会委員
- ・介護予防活動普及展開事業に係るアドバイザー
- ・かながわ介護セレクト 20 選考委員 など

【2024 年度役員新体制】

- 会長：船橋 庄司 (ST 士会)
 副会長：松本 肇 (PT 士会)
 副会長：遠藤 陵晃
 委員：佐藤 隼、金子 康、
 久保木 あずみ、清水 陽平、佐久川 拓郎 (PT 士会)、
 清水 宗平 (ST 士会)

【訪問リハ実務者研修会】

毎年、訪問等における質の向上を目標に OT・PT・ST 合同で研修会を実施しています。過去は、フィジカルアセスメント、リスク管理、医療機器の使い方など、OT や PT はもちろんですが、医師や看護師、業者さんにも講師をお願いして実施してまいりました。

今年度は、実務者研修会と初任者研修会を企画しています。以前参加した方も含めて参加をお願いします。



※過去の訪問リハ実務者研修会と訪問リハ学術集会の様子です。
 (文責：遠藤 陵晃)

2024年度地域リハビリテーション部活動紹介

【2024年度地域リハビリテーション部体制】

子ども・高齢者・障害者など年代・疾患問わず、地域で暮らし全ての方が住み慣れた場所で健康に生きていけるよう活動を行っています。神奈川県内における地域・在宅で活躍する作業療法士やこれから地域・在宅へ関わる作業療法士に向けて情報共有や講習会などの実施。また、行政や他職団体と研修会等の企画・運営を実施し、作業療法士間の交流や職種を超えて連携を図ることで地域でのネットワークの構築が出来るように部として関わりを持っています。地域リハビリテーション部は、様々な領域を班に分け、人材育成や普及・調査活動を実施しています。

地域支援事業班

地域リハビリテーション人材育成研修会、地域リハビリテーションミーティングなど地域支援事業に足しての人材育成、会員や県民に向けての普及啓発を行っています。



精神保健福祉班

精神保健福祉会と合同にセミナーを毎年行い、地域へのネットワークづくりや多職種連携の機会を作っています。

難病 リハビリテーション班

ALSをはじめとする難病疾患の研修会と普及啓発活動を行っています。

こども班

在宅生活をしているこどもに関する研修会を中心に、作業療法士がこどもと関わるハードルを高くしないようにネットワークづくりや情報提供などを行う機会を作っています。

地域広域事業班

行政や他団体の研修会、会議などに参加し、情報収集や、作業療法士の市町村窓口配置事業を担当しています。

【神奈川県作業療法士参画のための市町村担当者配置事業の現状と今後】

日本作業療法協会では地域共生社会5ヵ年戦略を立てており、その取り組みのひとつが、作業療法士参画のための市町村窓口担当配置事業です。日本には約1700の市町村があり、各市町村へ作業療法士の窓口配置をしようという取り組みです。神奈川県作業療法士会も県内33の市町村への窓口配置を計画しています。現在は、県全域、横浜市、川崎市、相模原市担当の4名は配置済みです。今年度は、二次医療圏域を参考に12エリアに分けて、窓口担当の決定を計画しています。また、将来的には市区町村に市町村担当配置を検討しています。会員の皆さんの協力を頂きながら、行政担当者とネットワークの構築をしていきたいと思っております。

【日本作業療法協会主催地域支援会議とBブロック会議について】

2023年度に日本作業療法士協会では、組織改編が実施されて地域社会振興部が立ち上がりました。地域社会振興部では6月頃、10月頃、3月頃の年3回、地域事業支援会議が実施されています。地域事業支援会議では、作業療法士として地域支援事業へどのように関わり、参加していくかを日本作業療法士協会から各県士会へ報告があったり、先行して士会と市町村関係性が構築出来ている取り組みを共有しています。本会議には各士会からは選任者2名、聴講者3名の最大5名が参加し、グループワークなど積極的な情報交換を行っています。当会からも選任者として佐藤隼理事を中心に毎回5名の参加をし、会長や副会長も会議に参加しています。地域における事業参画や人材育成について他士会の情報を得ながら、神奈川県作業療法士会としての地域支援事業等の参画や人材育成、人材バンク等を今後も検討していければと思っています。

地域事業支援会議は47都道府県が集まり実施する会議に対して、関東甲信越の士会が集まる地域社会振興部Bブロック会議があります。Bブロック会議では、関東7県と山梨県、長野県、新潟県の10県で会議を実施し、近隣の県での取り組みについての情報交換や地域事業支援会議では不十分だったことについてディスカッションをブロック内で改めて行う場となっています。当会としては地域事業支援会議の選任者が中心に参加して情報交換などを行っています。

2つの会議は日本作業療法士協会主催となっており、神奈川県作業療法士会としても協会の地域共生社会5ヵ年戦略や他士会の取り組みを参考に神奈川県士会の形を作っていければと思っています。

(文責：遠藤 陵晃)



第10回

絵本でみる作業療法

「絵本でみる作業療法」には解説編が存在する！

絵本を読んで、もっと「作業療法について」「作業療法士の仕事について」知りたいと思った方向けにベテラン作業療法士による解説動画をホームページにアップしている。作業療法士を目指す学生だけではなく、新人作業療法士にとっては対象者の理解やアプローチの視点を深められる内容となっている。ぜひ視聴してほしい。

(文責：清水 拓人)



No.4 娘はバレリーナ 〈解説編〉

解説：清水 拓人
(作業療法士、神奈川県立さがみ緑風園)
2022年8月19日公開

県士会サイトも是非みてね！
<https://kana-ot.jp/wpm/p-book/>



理事会議事録

★ 2024年度 第1回理事会 議事録 2024.4.18

日時：2024年4月18日(木) 19:00～20:35

開催方式：オンライン開催

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、吉本雅一(副会長)、奥原孝幸、遠藤陵晃、澤口勇、神田崇央、神保洋平、金山桂、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎、野本義則、青木啓一郎、佐々木秀一(15名)

出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2名)

欠席理事：玖島弘規(事務局長)、望月強併

I. 会長より挨拶

今年度、組織改編に向かってプレ運用が始まります。総会に向けて様々な準備をこれからしていくところであります。

II. 審議事項

- 後援依頼(事務局)
 - 日本ケアマネジメント学会第23回研究大会
→賛成多数で承認
- 神奈川県 精神障害者スポーツ大会 実行委員会委員の推薦依頼
現委員である「古賀 誠氏(昭和大学)」に依頼
→賛成多数で承認
- 部員申請(事務局)
 - 教育部、MTDLP
→賛成多数で承認
- ウェブサイト管理委員会 委員の退任(事務局)
 - 賛成多数で承認

III. 2023年度期末監査報告について

野々垣監事・錠内監事より

4月6日に期末監査を実施した。概ね健全に遂行されていたが、いくつか改善の検討をしたいため、該当の部や委員会には連絡をいれていく。特に初歩的なミスが多くあった。マニュアルをもう一度見直しをもらいたい。

IV. 報告事項(各部署・理事・三役)

- 事務局

- 事務局員の採用について
神保会長、玖島事務局長にて面接を実施し2名の採用を決定した。

2. 制度対策部

- 神奈川DWAT(Disaster Welfare Assistance Team:災害派遣福祉チーム)への参画に向けた進捗
4月11日付で神奈川県作業療法士会は、神奈川県と協定を結ぶことができた。4月1日付でネットワーク構成団体に神奈川県作業療法士会の名前が入っている。

3. 学会評議委員会

- 第19回県学会収支報告について
収入合計：¥3,729,013
支出合計：¥3,729,013(うち財務部への戻り金¥1,069,435)

4. 遠藤理事

- 地域リハビリテーション三団体協議会について
神奈川県の訪問リハ実務者研修会の企画運営を主に活動。ここ最近では地域包括ケアシステムとして訪問リハの育成のみだけでなく様々なことを実施。コロナ前は訪問リハの学術集会を全国初で実施していた。

3月13日に相談役会が開催され、今年度の事業計画について新規の事業所や若手セラピストのニーズに応えること、三団体協議会の再組織化を実施予定。

- OT協会主催地域支援事業会議について
地域支援事業会議、総合事業の在り方について、OT参画実地調査について、市町村担当者配置事業カタログについて話し合われた。

【その他報告部署・理事】

神保会長より
エリア化は野本理事に担当して頂く。

金山理事より
川崎市麻生区より正式に作業療法士の講演依頼あり。

V. 監事より

錠内監事より
9月くらいから来期の計画も立てなければいけない中で、計画のやり残しがないように進めて行ければと思います。政治連盟の責任者の役職を頂いていたが、今後、神田理事に引き継いでいくかたちになるかと思っています。

以上(事務局長 玖島 弘規)

求人案内

作業療法士 募集

医療法人社団 清伸会 ふじの温泉病院

自然豊かな環境で働いてみませんか！

業務内容：内科・精神科を併設する病院です。
内科勤務／入院・外来患者様への作業療法業務。維持期を中心に中枢疾患、運動器、廃用の患者様への身体的リハビリテーション業務。
精神科勤務／精神科病棟患者様への精神科作業療法、認知症リハビリテーション。入院患者様への精神科リハビリテーション業務。

応募資格：作業療法士有資格者

採用人数：若干名

施設概要：療養病棟 216 床、精神科病棟 256 床

給与：297,170 円（諸手当含む）

時間：9：00～17：00

休日：隔週休 2 日制（日曜日・祝日は固定休）
夏季・年末年始、有給休暇 20 日

待遇：賞与年 2 回（前年実績 4 か月）昇給年 1 回
社会保険完備 退職金制度 勤続旅行制度

現スタッフ数：OT 12 名、PT 7 名、ST 1 名

その他：学会・研修会出張奨励ほか

交通：J R 中央線藤野駅下車 専用シャトルバス
15 分

マイカー通勤可（無料駐車場完備）

応募：電話連絡の上、履歴書をご郵送下さい。追って面接日のご連絡を致します。施設見学も随時お受けいたします。お気軽にご連絡下さい。

問い合わせ先

〒252-0186

神奈川県相模原市緑区牧野 8147-2

TEL：042-689-2321（代）担当／山本

Email：j-yamamoto@fujino-hp.or.jp

URL：http://www.fujino-hp.or.jp

各部からの報告

▶ 教育部

（文責：教育部 神保 洋平、藤田 法成、山岡 洸、山田 千紗、山本 力也）

【神奈川県士会 教育部

令和 6 年度 現職者研修開催します！】

教育部では生涯教育制度に関する事業を展開していません。今号は今年度の現職者研修についてご案内します。

●現職者研修とは？

日本 OT 協会が作業療法士の技能向上を支援する目的で作った生涯教育制度の中の一部です。認定作業療法士・専門作業療法士を取得するためには生涯教育制度の基礎研修終了（基礎研修自由選択 / 現職者研修）が必要です。

●今年度の現職者研修について

現職者共通研修：共通研修は全 10 テーマあり、テーマ毎に受講。（1 コマ 90 分）

10 月 20 日（日）「作業療法生涯教育概論」、「事例報告と事例研究」、「保健・医療・福祉と地域支援」「実践のための作業療法研究」

11 月 24 日（日）「職業倫理」、「作業療法の可能性」、「日本と世界の作業療法の動向」「作業療法における協業・後輩育成」

2 月 16 日（日）「事例報告会（事例報告・事例検討）」
現職者選択研修：選択研修は必須の MTDLP と領域別研修（身障・精神・発達・老年の 4 領域のうち 1 領域以上）を受講。

12 月 8 日（日）発達領域

2 月 2 日（日）高齢期領域

※詳細は県士会 WEB サイトに後日記載しますので、確認宜しくをお願いします。

●現職者研修はこんな方におすすめ！

- ♪色んな世代、色んな領域の OTR が参加していて、職場を越えた交流をしたい！
- ♪臨床実践に必要な基礎知識、MTDLP や各領域の理論を学びたい！（現職者共通 / 選択研修）
- ♪認定作業療法士、専門作業療法士を取得したい！

皆様のご参加
お待ちしております！



◀ 詳細はこちら

【令和6年度 臨床実習指導者講習会の開催について】

●目的：「理学療法士作業療法士養成施設指定規則」の改定（2018年10月5日）に伴い、臨床実習指導者の要件が変更されました。実習指導を行う上で、本講習会終了が必須条件となります。神奈川県作業療法士会でも本講習会を実施しますので、ぜひご参加ください。

利点：作業療学生生の指導や後身の育成を経験することができます。

●開催要項

日時：2024年10月5日・6日

費用：神奈川県作業療法士会正会員 8,000円
神奈川県作業療法士会非会員 12,000円

場所：オンライン開催（参加申し込み受理後にMailでお知らせ）

受講対象：臨床経験5日目

問合せ先：神奈川県作業療法士会教育部理事

神保 洋平

湘南医療大学 リハビリテーション学科

作業療法学専攻

E-mail：y.jimbo.crcotr@gmail.com

● More Information

第2回臨床実習指導者講習会

開催日：令和6年12月14日・15日

臨床実習指導者講習会（アドバンス）

開催日：令和6年3月2日

詳細は県士会WEBサイトに後日掲載

▶ ウェブサイト管理委員会

X(旧Twitter)紹介

(文責：ウェブサイト管理委員会 佐藤 範明)

ウェブサイト管理委員会ではウェブサイトを始めメールマガジン、Facebook、X(旧Twitter：以下X)、Youtube、Instagramなど様々なメディアにて、皆様に有益な情報が届くよう努めております。今回は最も登録者数が多い、Xの発信情報を紹介します。

Xでは県士会サイト・ブログの更新情報はもちろんのこと、リハビリテーション関連ニュースなどの情報も取得することができます。

日々忙しいために、神奈川県作業療法士会の情報やリハビリテーションに関する情報を自ら取得に行けないこともあろうかと思えます。神奈川県作業療法士会ウェブサイト管理委員会公式Xアカウントをフォローしておくと、必要な情報の取り逃しも減って便利です！フォローお待ちしております。

図)



神奈川県作業療法士会・ウェブサイト管理委員会 X公式アカウントはこちら



リハビリテーション関連ニュース



県士会ブログの更新情報



県士会サイトの更新情報

事務局からのお願い

- 届出内容を変更される方 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『登録内容の変更届』を①郵送 ②FAX ③電子メール(kaiin@kana-ot.jp)にてご提出願います。(随時受付)
- 休会される方 来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**(末日消印有効)までに①『休会届』と②『証明書』を郵送でご提出願います(FAX不可)。
- 退会される方 年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を①郵送 ②FAX ③電子メール(kaiin@kana-ot.jp)にてご提出願います(上記日必着)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式ウェブサイトのINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

編集後記

すっかり暑くなりましたね。皆さんさんワンダーフェスティバルってご存じですか？今号を読まれる頃には終了してしまっていますが、7月下旬に幕張メッセで開催されるフィギュアと造形物の祭典です。工作系オタクの私はこのイベントに出展しています。OTの方で参加される方もいるのでは？？続く8/12は二次元系の祭典、コミケC104に参戦したいと思います。日本の夏、オタクの夏です。(びぐめい)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (228号) 2024年8月発行(年4回発行)

発行責任者 神保 武則
 編集責任者 金山 桂
 編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療学科) / 山岡 洸(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(悠の木株式会社) / 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院) / 松井 洋鷹(湘野辺総合病院) / 碓屋 瑛理(佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所
 事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号
 TEL/FAX：045-663-5997
 月火水木金 10：00～15：00
 メールアドレス：jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト
<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索
 Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>
 X <https://twitter.com/kaotwebkan>

